

欠車で「水郡線80周年」祝う支社のデタラメは 外注化2周年弾劾!9・11ストへ

動労水戸

外注化・非正規化による
「経済徴兵制」日本でも

職場の仲間の皆さん! 7月1日の集团的自衛権閣議決定は、3年半前の大震災・原発事故以来の非常事態です。放射能による被曝を許さないこと、戦争を許さないことは労働組合の使命だと、私たちは訴えます。今もイラクやアフガニスタンに送られている米軍兵士の多くは、非正規職や貧困家庭の出身であり、奨学金の返済や就職のために軍隊に入るしかない「経済徴兵制」が行われています。誰しも戦争になんか行きたくないし、殺し合いなど望みません。しかし、米国の現実を見れば、貧困は若者を「唯一食っていける道」として兵士に駆り立てるものです。外注化と低賃金・非正規雇用化は、労働者の戦争動員と一体なのです。

かつての戦争で、どれほどの人々が家族・友人を失い地獄の苦しみを味わってきたことでしょう。安倍総理や麻生、鳩山らの祖父や親は、230万人の国民とそれを上回る他国の人々を死



に迫りやった太平洋戦争の戦争責任者です。彼らは、戦死した日本兵の6割が餓死(戦病死)という真実を覆い隠し、「国のために命を捧げることを」とことん美化して、今再び国民に戦争協力を強制しているのです。絶対に許せません。

戦争を阻止する道と 職場闘争は一体だ

外注化や被曝労働に対し、自分たちの職場で闘わない労働組合が、別のところでやろうとする「平和運動」など成立しません。労働組合の力がどんどん

国鉄水戸動力車労働組合

水戸市三の丸三・一・三
発行責任者 石井真一 編集者 西納岳史
電話 029・227・6020
FAX 029・227・6291

後退したことで戦争を許したのが、かつての歴史の真実です。

実際に、7・1集团的自衛権閣議決定という非常事態の中で、JRの各労組は、現場労働者の要求や怒りとかけ離れたところで「組織温存」のために大混乱しています。かつて闘う組合だった国労は、大会の場でその名前まで捨てる提案をしました。幹部の自己保身のために「スト方針」を打ち出した東労組は、大会に来たJRの社長の前でみじめに撤回し、会社への屈服を決定的に深めました。

他方、私たち動労水戸の外注化・被曝労働絶対反対―常磐線竜田延伸阻止の闘いは、福島県民をはじめ圧倒的支持を受けています。会社の施策であろうと、「ダメなもの絶対ダメだ」と真正面から闘っていることに信頼が寄せられています。榎葉町民は、「私たちは絶対に乗らない」「JRの若い人たちがかわいそうだ」と言っています。水戸支社は、「誰も乗らない列車は危険」と警備会社の労働者を添乗させています。何と愚かなことでしょうか。すでに福



島の子どもたちの甲状腺ガンや異常が100人を越えました。みんなかけがえない子どもたちです。被曝を強制し、さらに戦争で死ぬことを強制しようとしているのです。私たちにとても全く他人事ではありません。

郡総の仲間と連帯し 外注化反対を貫こう!

JR水戸支社はこの9月から「水郡線全線開通80周年イベント」を行っています。ところが、水郡線走るE130系気動車は軸箱のボルト折損等の重大事故が続いており、しかも郡山総合車両センター(郡総)に送つても、在庫削減で部品が無いため修理して戻せないとい

う事態になっています。その結果、所定の編成が欠車のため組めなくなっています。増車を求める現場の切実な要求に対して、支社は「予算がないからやらない」…キャンペーンはただの金儲けで、元から儲からない水郡線ではもうまともな列車も走らせない。本当にふざけています。まさにJR北海道と同じ道を歩んでいます。外注会社での死傷事故も激発しています。

郡総では10月からさらなる外注化が強行されようとしています。現在働いている650人のうち、外注会社の労働者は既に半数近くの300人。外注化が進めば、とんでもない安全崩壊をもたらすことになります。労働者の間では「動労千葉や動労水戸のように闘おう」と激烈な討論が交わされています。

来年には、検修・構内業務外注化強行からいよいよ3年目を迎えます。私たちは、外注化と非正規雇用化に絶対反対します。全労働者をJRに戻せ!労働者に十分な教育を保障し労働条件を同じにするために、全員をJRに採用しろ!私たちは、労働者に対するあらゆる分断を許さない。郡総外注化は、安全の危機です。郡総の闘う労働者と連帯し、鉄道の安全を死守するため、私たちは郡総外注化に絶対反対で闘います。